

＜資料 1＞ 善福寺川周辺の公園は子どもも大人も都市のオアシス

(2024 年 5 月 17 日)



杉並区立関根文化公園に集う母子



ロケット公園内の善福寺川本流は樹木が溢れている



ロケット公園のプラタナスの巨木



胸高直径1メートルをこえそうなケヤキの巨木も



センター公園でサッカーに興じる子どもたち



こんなせせらぎも！カワセミも生息という

出典 2024 年 5 月 17 日 嘉田由紀子、丸山ゑみ氏が撮影

令和 6 年 5 月 21 日 参議院国土交通委員会 日本維新の会・教育無償化を実現する会 嘉田由紀子

1.計画のあらまし

善福寺川上流調節池（仮称）の計画

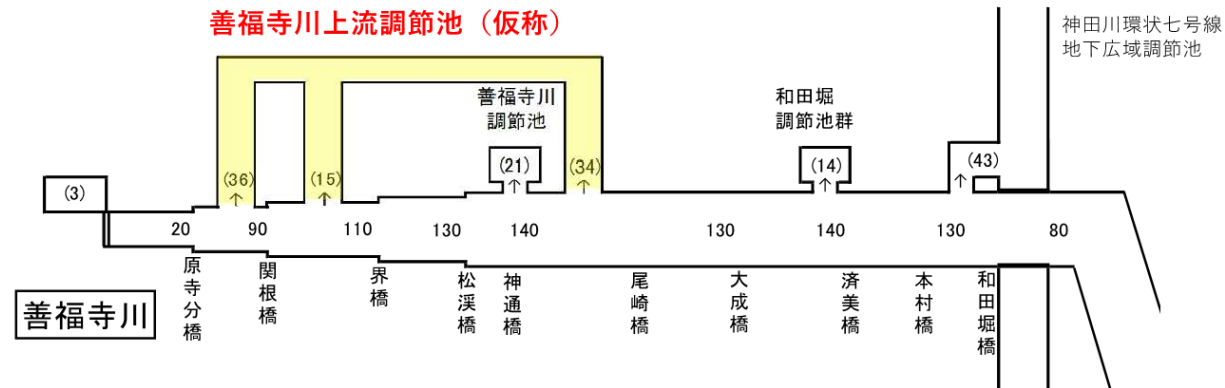
■ 神田川流域河川整備計画（令和5年3月 改定）に基づく調節池

■ 善福寺川において、時間最大75ミリの降雨に対応するための調節池

【神田川流域河川整備計画における内容】

	位置	計画調節池容量
	原寺分橋～関根橋 関根橋～界橋 神通橋～尾崎橋	約30万 m^3

● 流量配分図 【単位 m^3/s 】



出典 東京都「善福寺川上流調節池（仮称）について」（令和6年1月20日）p 8.

令和6年5月21日 参議院国土交通委員会 日本維新の会・教育無償化を実現する会 嘉田由紀子

住宅の真下に 巨大トンネルが?!

工期**10年以上** 総工費**1000億円**の
大規模工事の実態は?

次世代に誇れる治水事業のモデルとしたい

巨大管理棟と取水口が建設されると、近隣の子供たちに愛されている「どんぐり公園」の一部も失われ、約25軒の地域住民は立ち退きを迫られます。貴重な湧水（23区内唯一）や地元の小学校と里川に返す活動も行われる上流域の貴重な自然が喪失します。この地の文化を破壊せず、行政と住民の協働でグリーンインフラのモデル地域を目指したい。

東京都が計画する善福寺川上流調節池計画は、関根文化公園からロケット公園までの、全長5.8kmの調節池トンネルを、地下40mの「シールド工法」で作る計画です。関根文化公園、原寺分橋付近、ロケット公園には立ち退きや公園廃止を前提に、大きな貯水施設も建設されます。工事が始まれば、10年以上、1000億円を超える大規模な工事となり、騒音、低周波被害、大量の土砂を運ぶダンプの交通渋滞や事故、地盤の沈下も想定されます。

東京都市計画河川第8号善福寺川の都市計画変更案資料より



プラタナスの木を守り、
子どもに豊かな自然を残したい

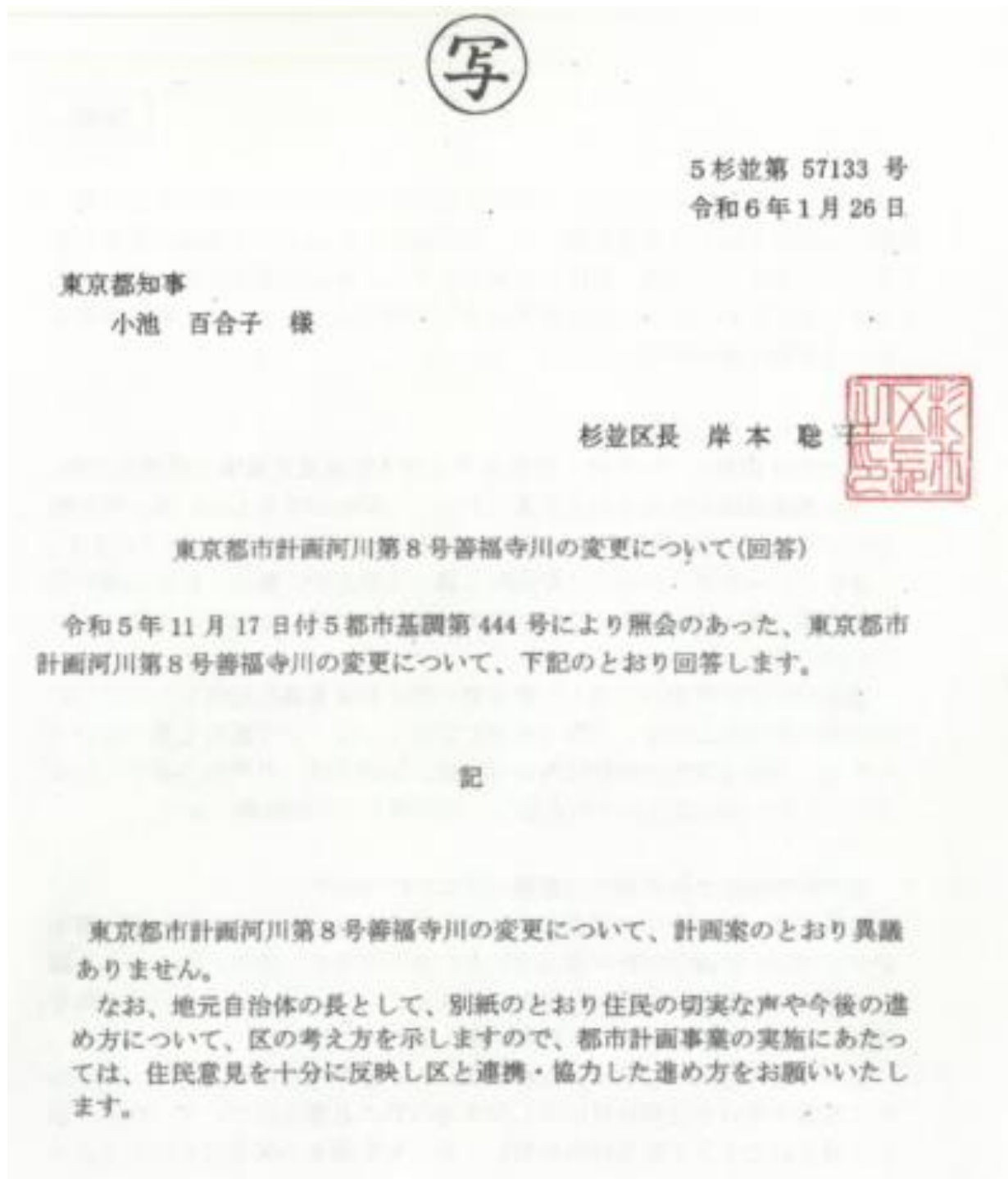
「ロケット公園」は善福寺川緑地内でも特に象徴的な公園です。多くの遊具やプラタナスの大木が何本も聳え立ち、真夏の炎天下でも過ごしやすい特別な場所です。また、センター広場は毎朝100名を超える人々がラジオ体操に励み、子ども達がサッカーやバスケットボールを楽しむことができる貴重な広場。巨大な取水管理施設の建設により多くの木が切り倒され、景観は一変します。

貴重な地域の憩いの場・
子どもの遊び場を残したい

「関根文化公園」は地域の貴重な区立公園です。近隣の園庭のない保育園児たちのお散歩コースになっています。周辺の児童館廃止後は、小学生の貴重な遊び場でもあります。この貴重な区立公園で大規模工事が始まれば10年以上に渡り騒音や振動被害も想定されますが、近隣住民への説明会は昨夏に一度だけ。住民のほとんどは未だにこの計画を知りません。

振動、騒音、トラックの往来だけではない！ 「シールド工法」の問題点





出典 杉並区長 岸本聡子「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更について（回答）」別紙
（令和6年1月26日）

令和6年5月21日 参議院国土交通委員会 日本維新の会・教育無償化を実現する会 嘉田由紀子

別紙

区の都市計画審議会からは、計画案に同意する旨の答申を受けましたが、審議会における様々な意見を踏まえ、意見が付されるという異例の答申であったこと、加えてこの間、区にも本事業に対して多くの意見が届いていることを重く受け止め、以下に区の考え方及び要望を示しますので、最大限尊重することを強く求めます。

1 都市計画決定にあたって

本都市計画案については、昨年8月の都市計画変更素案の説明会以降、「本計画案自体を知らない人が多くいる」、「周知が不足している」等の理由により、全区的な説明会や地域ごとの説明会の開催が求められています。

また、シールドトンネルの安全性に関する懸念や、都立・区立公園では子供の遊び場・地域の憩いの場の喪失、湧水の枯渇、生態系の破壊などの声も多く寄せられています。

都市計画変更素案の公表から東京都の都市計画審議会に諮られるまでの期間が半年程度しかなく、都は拙速に進めているという意見も多く届いています。本都市計画の決定にあたっては、地域住民への周知が必ずしも十分でないとの住民意見に十分留意し、都知事として判断願います。

2 都市計画決定された場合の事業の進め方について

本計画は、区内での大規模なトンネル工事となるにもかかわらず、都市計画決定前の詳細な設計が進んでいない状況であり、住民の関心がある取水施設等の位置や影響のある樹木の本数などについて、「詳細な説明がなく、理解や判断が出来ない」との意見が多く届いています。

原寺分橋付近については、計画区域にかかる地権者はもとより、日常生活に影響を受ける近隣住民に対し取水施設等の必要性について、理解や協力を得られるよう丁寧な説明を行い、あわせて湧水の保全にも努めるよう強く要望します。

関根文化公園については、この地域では、数少ない公園であるため、事前に利用者への十分な周知を行い、施工範囲を必要最小限とし、可能な限り公園が利用できるよう要望します。また、取水施設等の整備により減少する面積に相当する公園用地の確保が必要であり、区としても周辺の用地情報などに注視し、代替地の確保に努めますので、必要な協力をお願いします。

都立善福寺川緑地については、多くの子供たちが遊び、親しまれている場所であるため、都の公園管理者と協議を行い子供たちの遊び場機能を確保し、樹木など、みどりの保全や創出にも努めていただくよう強く要望します。

出典 杉並区長 岸本聡子「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更について（回答）」別紙
(令和6年1月26日)

令和6年5月21日 参議院国土交通委員会 日本維新の会・教育無償化を実現する会 嘉田由紀子

このようなことから、上記のすべての箇所において、地域住民への工事の影響を最小限にするよう、工事エリアや期間などの検討を行うとともに、各地域での合意形成に努め地域住民に寄り添った対応を求めます。

また、事業を進めるにあたっては、事業認可取得までの間に、地域ごとの疑問や課題の解決に向け、都主催による地域住民や公園利用者などを対象とした事業に関する説明の機会を区と連携・協力して確保するよう強く要望します。

さらに、調査・設計が進んだ段階で、適宜新たな情報を開示するとともに、地域住民の声を聴取したうえで、その後の設計・施工にあたっては出来る限り反映することを要望します。

3 総合的な治水対策の推進について

東京都豪雨対策基本方針（令和5年12月改定）では、総合的な治水対策を推進するため、目標降雨への対策となる河川・調節池などの整備や流域対策とあわせて、家づくり・まちづくりの中でグリーンインフラも活用していくこととしています。

善福寺川は、対策強化流域となっており、区の都市計画審議会や区の実行計画の改定に関する説明会においても、グリーンインフラの活用による治水対策を求める声が多く届いています。

区では、さらなる治水安全度の向上を図るため、令和6年度より、雨水流出抑制対策の強化に向け、住民との対話を重ねながら、グリーンインフラとなる雨庭などの活用について検討を開始する予定です。

今後の雨水流出抑制対策の強化にあたっては、グリーンインフラの活用が必須となりますので、必要な支援を求めます。

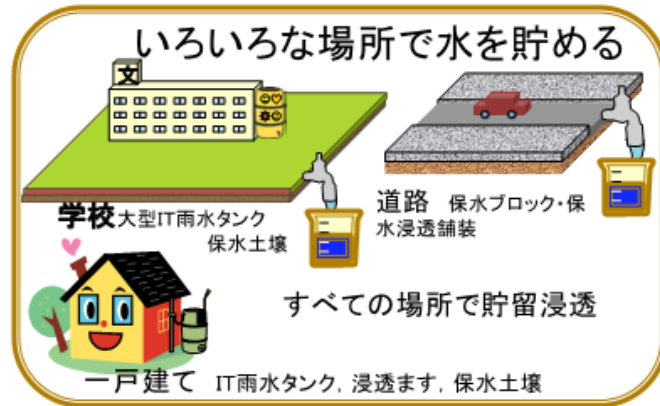
総合的な治水対策を進めるにあたっては、区内部においても、都市整備部、環境部などの関係所管が連携し全力を尽くしていきます。都においても、都市整備局、建設局、環境局など関係各局が十分に連携したうえで、調節池整備をはじめとした総合的な治水対策について、調査・分析を含め都のモデルとなるような具体的なロードマップを示しながら区とともに進めていただくよう強く要望します。

なお、具体的な内容については、別途、担当所管間での十分な調整に協力をお願いします。

出典 杉並区長 岸本聡子「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更について（回答）」別紙
（令和6年1月26日）

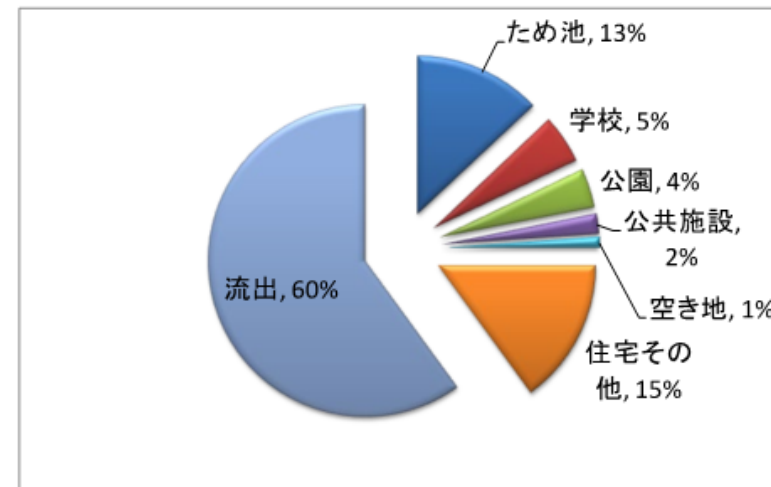
令和6年5月21日 参議院国土交通委員会 日本維新の会・教育無償化を実現する会 嘉田由紀子

みんなで水を貯めて、洪水を防ぐ 樋井川流域治水市民会議



- 雨水流出 40%減
- 治水の在り方を変える
- 民間資金が治水を 普請の復活
- 自分のところに降った雨は自分で処理する
- 治水を環境・福祉・地域づくりへと発展

- ヒートアイランド防止
- 低炭素型公共事業



出典 九州大学島谷幸宏「多自然川づくりと主体形成そして脱温暖化」(2010年4月23日) p 16.

令和6年5月21日 参議院国土交通委員会 日本維新の会・教育無償化を実現する会 嘉田由紀子